

科学研究費助成事業（科学研究費補助金）研究成果報告書

平成 24 年 6 月 5 日現在

機関番号：25201

研究種目：研究活動スタート支援

研究期間：2010～2011 年度

課題番号：22830064

研究課題名（和文） 20 世紀初頭の北東アジアにおける日露間の実業的なネットワークの広がり

研究課題名（英文） Spread of the Russo-Japanese business network in the North-Eastern Asia at the beginning of the 20th century

研究代表者

パルィシェフ エドワルド (BARYSHEV EDUARD)

島根県立大学・総合政策学部・助手

研究者番号：00581125

研究成果の概要（和文）：2010～2011 年度には、従来の研究を発展させる形で、20 世紀初頭の北東アジアにおける日露の実業的なネットワークの析出に務めた。研究実施計画に沿って手に入れられた貴重な日露両国側の史料を綿密に分析し、日本商社によるロシア市場への進出プロセスとそれらの対露戦略方針を解明し、当時の日露貿易の諸問題を明確化することができた。研究成果の一部はすでに学内誌『北東アジア研究』等に掲載されている。

研究成果の概要（英文）：In 2010-2011 financial years, the applier, extending his previous investigations, strived to clarify the frames of the Russo-Japanese business network in the North-Eastern Asia at the beginning of the 20th century. In accordance with the research plan, he attentively analyzed valuable Russian and Japanese historical sources, which he could get into his hands, clarified the process of the Japanese trade companies' penetration into the Russian market and their strategic course to Russia, and distinguished some important problems of the Russo-Japanese trade in this period. These research results have been already published partly in the *Shimane Journal of North East Asian Research* and other journals.

交付決定額

(金額単位：円)

	直接経費	間接経費	合計
2010 年度	920,000	276,000	1,196,000
2011 年度	800,000	240,000	1,040,000
年度			
年度			
年度			
総計	1,720,000	516,000	2,236,000

研究分野：社会科学

科研費の分科・細目：国際関係論

キーワード：国際関係史・日露関係史・北東アジア近代史

1. 研究開始当初の背景

研究代表者は 2001 年に来日してから、多

年にわたり、第一次世界大戦期における日露接近について研究してきた。この研究のなかで研究代表者が特に注目したのは日露接近の政治的・社会的・文明的な背景であり、地域的なレベルでの人的な交流や経済的な関係は惜しくも、視野外に残ることとなってしまった。その結果、20世紀初頭の日露同盟の性質をよりよく解明するために、日露間に広がっていた実業的なネットワークの輪郭を明確化する必要性を痛感し、本研究を試みることにした。

2. 研究の目的

本研究の目的は、20世紀初頭という「帝国主義の時代」を中心に、ロシア極東や満州を拠点とする実業家たちと日本の実業家たちの実務的な接点を探り、その人的なネットワークの輪郭を検出すると同時に、日本商社によるロシア市場への進出プロセスとそれらの対露戦略方針を解明し、当時の日露貿易の諸問題を明らかにすることにあつた。

3. 研究の方法

研究代表者は本研究テーマについて、日露両国の外交資料や公文書、商社の資料、両国の地元の定期刊行物を頼りにして実証的に調査した。具体的には、モスクワのロシア帝国対外政策史料館（AVPRI）やロシア国立軍事史資料館（RGVIA）、ウラジオストークのロシア国立極東歴史公文書館（RGIADV）、東京の外務省外交史料館、防衛省防衛研究所、三井文庫、東京経済大学大倉財閥資料室や三菱経済研究所などで史料を発掘し、北東アジアを中心とした外国資本の商社と日本の商社との実業的な関係を比較史的な方法をもって徹底的に分析した。

4. 研究成果

2010～2011年度には、従来の研究を発展させる形で、20世紀初頭の北東アジアにおける

日露の実業的なネットワークの実像をつかめ、その一部を再現できた。特に、三井物産のロシア市場進出過程とその対露貿易戦略、およびウラジオストークのブリネル商会の対日貿易関係を事例にして、日露実業関係や日露貿易の諸側面に光を当てることができた。

具体的には、ロシア市場への進出において三井物産が成功したのはスイス出身の外商ブリネルのおかげであったことが分かった。要するに、極東ロシアの外商たちは、日露間において重要な媒介物の役割を果たしており、日本の経済界の対露進出を容易にしたわけである。日本実業界との緊密な関係をつくりあげたブリネル&クズネツォーフ商会は第一次大戦期の日露経済関係において重要な役割を果たしたことも明らかとなった。

さらに、同商会と日本の実業界との関係にはブリネルが管理していた銀鉛亜鉛のテチュヘ鉱山をめぐる諸関係が重大な位置を占めていたこと、後藤新平らを中心とする東京の日露協会が日露経済関係の背景に大いに動いていたこと、ロシアの武器軍需品発注が日本の実業界に大きな影響を与えたことを解明した。研究過程で得られた研究成果は学内誌および他の学外誌に掲載されている。

5. 主な発表論文等

（研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線）

〔雑誌論文〕（計5件）

(1) バーレイシェフ エドワルド За кулисами русско-японских переговоров 1906-1907 гг.: дипломатия Мотоно Итиро（「1906～1907年の日露交渉の舞台裏—一本野一郎の外交」）Япония 2010. Ежегодник（『日本年鑑 2010年』）、274-292頁（査読あり）。

(2) バーレイシェフ エドワルド「第一次世界大戦期における日露軍事協力の背景——三井物産の対露貿易戦略」『北東アジア研

究』第21号(2011年3月)、23-41頁(査読あり)。

(3) バーレイシェフ エドワルド The General Hermonius Mission to Japan (August 1914 - March 1915) and the Issue of Armaments Supply in Russo-Japanese Relations during the First World War, *Acta Slavica Iaponica*, Vol. 30 (2011), pp. 238-254 (査読あり)。

(4) バーレイシェフ エドワルド Японские винтовки на русском фронте во время Первой мировой войны (1914-1917 гг.): Малоизвестные страницы неизвестного сотрудничества (「第一次世界大戦期(1914~1917年)のロシア戦線における日本小銃について——あまり知られていない協力関係のエピソード」) Япония 2011. Ежегодник (『日本年鑑 2011年』) 238-254頁(査読あり)。

(5) バーレイシェフ エドワルド「第一次世界大戦期の『日露兵器同盟』と両国間実業関係——『ブリネル&クズネツォーフ商会』を事例にして」『北東アジア研究』第23号(2012年5月)、193-215頁(査読あり)。

[学会発表](計1件)

バーレイシェフ エドワルド「20世紀初頭の国際関係と1916年の日露秘密同盟」第3回トランスボーダー研究会、2010年9月18日(九州大学)。

[その他]

ホームページ等

http://www.u-shimane.ac.jp/36near/41kenkyu/file/21-02_baryshev.pdf (『北東アジア研究』第21号)

http://eprints.lib.hokudai.ac.jp/dspace/bitstream/2115/47642/1/ASI30_002.pdf (*Acta Slavica Iaponica*, vol. 30)

<http://cms.u-shimane.ac.jp/ja/hamada/research/organization/near/42news/index.data/NEARNews38.pdf>

<http://cms.u-shimane.ac.jp/ja/hamada/research/organization/near/42news/index.data/NEARNews39.pdf>

<http://cms.u-shimane.ac.jp/ja/hamada/research/organization/near/42news/index.data/NEARNews41.pdf>

(NEAR News、第38号)

(NEAR News、第39号)

(NEAR News、第41号)

6. 研究組織

(1) 研究代表者

バーレイシェフ エドワルド (BARYSHEV EDUARD)

島根県立大学・総合政策学部・助手

研究者番号: 00581125

(2) 研究分担者

()

研究者番号:

(3) 連携研究者

()

研究者番号: